

助成事業実施報告書

団体名.....特定非営利活動法人さんさんくらぶ

代表者・役職名 氏名.....理事長 蘭田碩哉

1. 助成プロジェクト名

学習障害児・困難児の自然と農体験支援プロジェクト

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

さんさんくらぶは、里山の自然を活用した子育て活動を進めてきた「さんさん幼児園」を母体に、その卒園生、父母、協力者が集まって2003年に創設された。里山の自然の保護、田んぼの耕作、野外レクリエーションなどの自然にかかわる活動を進める一方、持ち寄り音楽会、市民オペレッタ、造形ワークショップなどの地域のアート活動の推進に取り組んでいる。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

このプロジェクトは、障害その他の理由で学習に困難を抱えている子どもたちに対し、身近な自然体験や里山での田んぼ耕作体験を提供して精神的な解放感を味わわせ、心と身体の伸びやかな成長をはかることを目指した。これまで取り組んできた里山活動やアート活動の実績を踏まえ、健全児と障害のある子どもたちを融合させ、青年から高齢者に至る社会人もともに参加して、自然とアートの豊かな世界を体験して子どもたちの内に潜在している可能性を引き出そうとするものである。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

里山を活用した自然体験として山歩きや里山キャンプ、どんど焼き、農体験としては谷戸の田んぼでの代掻き、田植え、草取り、カカシ作り、稲刈り、脱穀から餅つきまでの一連の活動を行った。これに加えて芸術体験として、さんさんくらぶ独自の音楽会への参加や粘土造形のワークショップを開催した。これらの事業を都心の子ども教育団体、地域の知的障がい者の授産施設、重度障がい者の療育施設と連携して参加者を集め、当くらぶのメンバーと帝京大学の学生が協力して運営にあたった。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生じた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

自然体験とアート活動で年間10回ほどの活動を行い、延べ300名ほどの参加者を集めることが出来た。いずれの行事においても学習障害や身体障がいなど困難を抱える子ども・青年・成人と一般の市民とが溶けあい、人と人との「共生」を実感できる時間を生み出したのは大きな意味があった。さまざまな状況にある子どもや成人たちが自然やアートを媒介にして、お互いの理解を深める場を多彩に用意できたことは、地域社会の絆を生み出していくために大きな効果があったと思われる。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

さまざまな困難を抱えた子どもたちにどのようにして連絡を取り、参加を促すかという課題は簡単ではなく、当初考えていたようには参加者を集めきれなかった。障がい者関連の団体や施設との連携を一層深めていくことが重要だと痛感している。プログラムの内容としては大きな支持を得られたので、次年度以降は、今回の成果を生かした「自然とアート」活動の魅力を発信する事業を強化し、もっと多くの対象者にこの活動の喜びを伝えていきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

2019~2020

真如苑助成事業

さんさん田んぼファミリー大募集!

町田市小野路の里山(合歓の里)の棚田にみんなの力で稲を育てます。春夏秋冬の変化に富んだ体験を通して、お米の文化を学びます。収穫した稲を脱穀してお米にし、最後はみんなで餅つきを楽しみます。



(上の写真は2018年の稲刈り風景)

・1年間のスケジュール・ *日程は天候等によって変わることがあります。

*田植え 6月8日(土)/9日(日)

泥田をかき回したあと、大人も子供も一列に並んで稲を植えていきます。

*草取りとドラム缶風呂 7月28日(日)

雑草取りの後はバーベキュー。ドラム缶で沸かしたお風呂も楽しめます。

*田んぼキャンプと案山子(かかし)作り 8月24日(土)~25日(日)

合歓の里で一晩を過ごします。田んぼを守る「かかし」をたくさん作ります。

*稲刈り 10月5日(土)/6日(日)

鎌をふるって稲刈りです。刈った稲を束ねて竹の棒に架けて干します。

*脱穀・粳摺り 11月10日(日)

機械を使って稲から実を取り出し、さらにモミを摺って玄米を取り出します。

*餅つき祭り 2020年1月12日(日)

みんなで新年を祝い、にぎやかに餅つきです。いろいろなお餅が食べられます。

(上記以外にも、ホテル探勝、里山歩き、冬の焚き火などを予定しています。)

☆登録：参加希望者は「田んぼファミリー」として登録していただきます。個人でも家族でも1ファミリーとし、登録料は年間1000円です。(さんさんくらぶ会員は無料)
下記の連絡先に住所、氏名、電話、e-mailを明記してお申し込みください。

☆ファミリーには随時、田んぼレポートと行事案内を送ります。参加は自由です。参加して貢献して下さった分に応じて収穫物(お米や畑の作物など)の分配があります。

〈お申し込み・お問い合わせ〉

電話 090-4703-8878(そのだ) e-mail:s.sonoda@nifty.com

〈主催〉 NPO 法人さんさんくらぶ

〒195-0064 町田市小野路町 5336-7

ホームページ：<http://www.sansanclub.jp>

真如苑助成事業

さんさん フェス 2019



今年もまたエスが、
さんさんフェスが、
南大沢にやってきます！
九月の納涼会、
十月の三曲一丁カル？
十一月の観客も一しよ！
盛り上がりましょ！

☆☆会場☆☆☆☆

南大沢文化会館

交流ホール

八王子市南大沢 2-27

京王相模原線「南大沢」下車、徒歩3分



☆参加費無料 (差入れ歓迎！)

第2弾

2019年11月23日(土)

開演 18:30 (開場 18:00)

秋の夜長…例えば『さんさん版・サウンドオブミュージック』という趣向はいかがでしょう？
きっと皆さんと一緒に歌いたくなるはず・・・！

《出演予定》

- 東京よされ会；八丈太鼓
- A J E T；混声4部合唱
- 寄せ鍋；楽器アンサンブル
- H2O；琴とピアノと電子楽器
- パバちち；弾き語り
- 他



※出演者・スタッフ・アイデア募集。
一緒に楽しみませんか？

第1弾

2019年9月7日(土)

開演 13:15 (開場 13:00)

今年も、昨年好評だったビールサーバーを導入。
歌って踊って飲んでしゃべって…一緒に夏の疲れも
吹き飛ばしましょう！



《出演予定》

- 寄せ鍋；楽器アンサンブル
- 百草ふれあいサロン；みんなで歌おう！
- H O；琴と電子楽器
- 奥山樹生；話芸
- レアレアの会；フラダンス
- 小さな音楽会“結弦”；二胡演奏



※特設のミニギャラリーを開設します。

さんさん幼稚園卒園児保護者・ませぎりえさんの
消しゴムハンコ展、さんさんオペラ「皇帝とウ
グイス」手作り衣装展等々…お楽しみください。

《主催》

NPOさんさんくらぶ
町田市小野路町5336-7

《ホームページ》

<http://www.sansanclub.jp>

《問合せ》

E-mail；music@sansanclub.jp

Tel；090-4703-8878 (蘭田)

真如苑助成事業

さんさんのお餅つき

～寒さを吹き飛ばしてべったんこ！
2020年の夢を語り合いましょう～

■日時

2020年1月12日(日)

午前10時～午後2時

■場所

さんさんくらぶ(旧園舎)

■参加費

無料

※差し入れ歓迎



大人も子どもも
べったんこ!

「縄文人のセンスを学ぼう！」作品展示会

昨年秋の造形ワークショップで作られた縄文風

「顔面土器」を展示

皆さんの投票で「お気に入り」作品を選んで
表彰します。



「がんばってつくるぞ～！」

申し込み
問い合わせ

NPO さんさんくらぶ

メールアドレス

s. sonoda@nifty.com

電話

090-4703-8878

(おひげ)

《真如苑助成事業》

縄文人のセンスを学ぼう！ 土器を作ってみんなで展覧会！

1 回目：学んで作る

2019年11月17日(日)

午前10時～午後4時

2 回目：新縄文人の個展

2020年1月12日(日)

午前10時～午後3時

会場：さんさんくらぶ

(町田市小野路町 浅間下バス停すぐ)

指導：田宮 義寛 氏

テラコッタ作家、陶芸教室主宰。多摩ニュータウンでの遺跡発掘作業にも参加している。

参加費：子どもから大人まで 1人1,500円(材料費、焼成料)

定員：子ども20名 大人10名

《主催》 NPO法人さんさんくらぶ

《問い合わせ・お申込み》

Tel：090 4703 8878 (そのだ) Email：s.sonoda@nifty.com



学習障害児・困難児の自然と農体験支援プロジェクト 記録写真

1. 自然体験・農体験

里山の自然の中で、四季折々の変化を味わいながら、田んぼの耕作に取り組みました。
子どもも大人も、それぞれの個性を生かしながら力を合わせて、自然という大きな舞台を楽しみました。

▼代掻き



▼田植え



▼夏の里山キャンプ



▼キャンプファイヤー



▼実った稲



▼みんなで稲刈り



▼脱穀ともみ摺り



▼里山での大焚き火



2. 音楽フェス

さんさんくらぶ恒例の音楽フェスティバルでは、車いすの参加者も迎えて演奏を聴き、一緒に歌ったり、打楽器を叩いたり、みんなの心と心が溶けあうすてきな時間を味わいました。



▼チェロの独奏



3. 造形ワークショップ

モノを作るという活動は万人のものです。子どもから大人まで、いろいろな素材を使って、自分の世界をカタチにして行くことが出来ます。夏には里山田んぼでカカシを作り、秋には粘土をこねて土器づくりに挑戦しました。

▼みんなでカカシ作り



▼縄文土器づくりに挑戦



▼焼きあがった土器の発表・鑑賞会

